日本共産党あきる野市委員会発行

あきる野民報

発行責任者/松平重幸　TEL＆FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして！

2008.7.27　No.491（毎月２回発行）

被爆63年――
原水爆禁止 国民平和大行進

炎熱の中、今年も元気に

あきる野コースに約四十人が参加

今年の原水爆禁止国民平和大行進（北海道～東京コース）は七月十八日五日市地区に到着しました。七月十九日は、日の出町役場を出発、あきる野市役所から福生公園まで元気に行進しました。

瀬沼あきる野原水協代表が挨拶

十時五十分瀬沼代表の挨拶のあと福生公園にむけて元気に行進を開始しました。参加者はそれぞれ旗やプラカードを持ちねり歩きました。なかでも「あきる野九条の会」「新婦人あきる野支部」の旗が人目をひきました。

約一時間歩いて二宮の「お池」で休憩した時はみなホットしていました。元気を回復して、炎熱のなか気合を入れて行進を続行。十二時四十分に福生公園に到着。冷たい飲み物のサービスを受け疲れをとりました。

青梅、羽村、福生のコース行進者と合流、集会を開きました。横田基地強化、恒久化に反対する決議を採択、在日米軍司令官に送付を決めました。

あきる野市の行進参加者は、近くのファミリーレストランで遅い昼食を食べ来年の参加も決意し合い、帰途につきました。

原子力空母ノー
7・13 横須賀集会
3万人

西多摩から バス二台 七五人が参加

噴き出す汗が塩になるほどの炎天下、三万人の熱気がヴェルニー公園を包みました。「原子力空母配備反対、米軍基地の再編・強化許さない」の声が横須賀の米軍基地に向け鳴り響きました。

あきる野から24人参加

車中で基地問題の勉強会、アコーデオン演奏のなかで懐かしい「歌声喫茶」が行われました。

炎天下の集会のあとデモ行進、米軍横須賀ゲート前では、怒りのシュプレヒコールを行いました。

帰りのバスでは西多摩での横田基地撤去の新たな闘いの決意を固めあいました。

暑さを吹き飛ばす笑顔で、元気よくシュピレヒコールが響く。

あばらしき こどもぐらし

たばた　あずみ

ちび３歳、こだわりのお年頃。毎日着る服を自分で選び、「きせて」かと思うと「ズボンはじぶんで」。靴を前にぼんやりしているので履かせると「じぶんで！」と、やりなおし。頼む人も指定。できないことだらけのくせに、頼んだ以外のことをやられるとひっくり返らんばかりの勢いで怒りだします。

それがわかっているなら余計な手は出さなければいいのですが、毎日、一日中、何度もになってくるとついうっかり。こちらも疲れていると「はやく！」「もういいなどと言ってしまい、余計時間がかかる羽目に。

生まれて3年のいきものが自力で色々やろうとしている。それを見守るだけのことが、どうしてこんなにむずかしいのでしょう…。　（08.7.27）

連絡先は☎550-6674

野良望

▼登場人物は五日市憲法草案の起草者千葉卓三郎の生地宮城県志波姫町隣接の地に住む名字も同じ千葉ケイさん。93才の元中学校教師のご婦人。▼頂いたお手紙には、「東北の山里に住む老婆です。佐藤（元私の職場の同僚＝ケイさんの中学校の教え子）さんから送られた『今輝く五日市憲法草案』をなにげなく読みはじめ、大きな驚き、それがこの地に近い生まれの方（卓三郎のこと）と知り、全く感動致しました。…当時（昭和七年）は思想の嵐の中で、教授方も何を聞いても「言わず語らず」の時代でした。…その何十年も前にこのような方がいたことを知り、深い感動を覚えました」▼手紙の後半では、訪ねてきた長男（元教師・教育長）に手渡すと、「有名な方で生地の碑も見てきた。良く調べた方がいたんですね、読ませてもらうよ」と持って帰られたそうです。▼これを書いていると、「この間、署名の時に頂いた一冊が職場の評判になっているので、もう十冊下さい。いまから取りにいきます」地元伊奈のMさんからの電話が……。（紀）

開業1年 どうなる！どうする！『瀬音の湯』

『新四季創造株式会社の決算』の報告とこれからを市民が検討する

市民集会のご案内

8月3日(日)午後2時～4時
ルピア3F情報研修室

決算は黒字だって…

初年度は、予想（19万人）を大きく上回る24万人に利用され大健闘。私たちも胸をなで下ろしました。「瀬音の湯」だけだと、3,500万円の黒字だそうですが……

でもね…ちょっとね…

ところが、6月に出された決算書は、会社全体では「ふるさと工房」の赤字が響いて、純利益は350万円。準備段階の赤字を引くとなんと135万円の純利益。

心配あるの？　あるのよ～

2年目に入り、「利用者が去年より1割減ってきている」と市担当者。「人は減り、石油高騰で燃料代は上がると来年度は赤字になるかも」と心配する声が…。

え～っ！そうなの～

借りたお金の返済はあるし、「やれ修理費だ、やれ赤字だ」、で税金投入に？

その上、来年秋には秋川駅北口に24時間営業の温浴施設が開業予定です……。

参加をお待ちしています。主催＝温泉問題を考える会

映画

リニューアル版　小林多喜二原作・山村総監督

蟹工船

おい　地獄さ　行ぐんだで

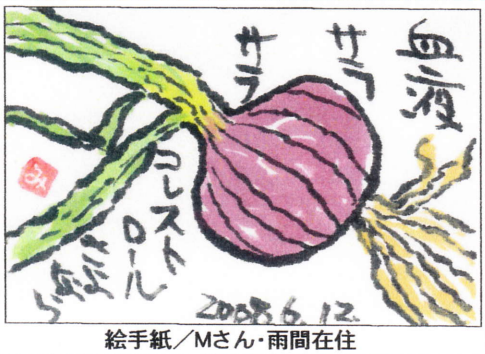
8月9日(土)午後6時30分開会
中央公民館2F・第6～7研修室

入場無料

■主催＝日本国民救援会秋川流域支部

毎年恒例の納涼・映画の夕べ

カットは『まんがで読破蟹工船』より



絵手紙／Mさん・雨間在住

川柳

先生の株は一株二〇〇万　西川昇
燃油高投機やめろと飛行機が　西川昇
輝けり平和行進五十年　松籟坊
驚いたあの先生が金まみれ　松籟坊

「憲法まもれ」――新たな出発にむけて㉘

日本国憲法の精神で暮らそう

引田在住　西川　昇

共産党の政策ビラを配布した人が逮捕される事件が続発しています。かつて治安維持法で日本共産党が弾圧された時代の再来かと思われる状況です。

ワーキングプアに端を発した秋葉原のテロ事件や年間三万人超の自殺者を生む経済大国の歪んだ現実。また都立高校では君が代斉唱の不起立で懲戒処分や嘱託採用拒否が横行し、裁判闘争が続行中です。

『蟹工船』の作者小林多喜二（1933年頃）

安倍元首相らがかつてNHKの従軍慰安婦報道に介入して放送内容を大幅に改変させた事件。さらに沖縄戦で軍の関与により県民の集団自決が行われたことが裁判で認められ教科書に記載されるなど靖国派は大きな打撃を受けました。

マスコミをとりこんだ二大政党キャンペーンも自民や民主の思い通りには進まず国民が首をかしげる事態が生まれています。

野党が提案し参院で可決した後期高齢者医療制度廃止法案を衆院では共産党以外の野党が審議拒否をして与党を助けてしまったことは、国民にとってはどの政党を信じたら良いのか裏切られた気持ちです。

いま大分県教員採用試験をめぐる汚職事件では子どもが教室で毎日教わっている先生が、不正な手段で教壇に立っていることを親はどう説明したらよいのか。

政治・経済・司法をめぐつて、弱い者いじめ、金儲け主義の横行で目をおおうばかり。

日本国憲法の精神はどこへ行ってしまったのか？戦前特高警察に虐殺された小林多喜二の「蟹工船」が爆発的な売れゆきで国民に読まれていることは、敗戦後に戦前・戦中に戦争に反対して監獄に入れられていた共産党の存在を知って多くの国民が励まされた歴史的な事実と見事に二重写しとなって見えてきています。

〝むかし蟹工船
いまワーキングプア〟

俳句

雲切れて棚田の上を蕪かな　（和恵）
泥んこの少年の顔田植かな　（つや）
梅雨晴間知覧の里の武家屋敷　（静子）
初夏の花のとりどり礼文島　（るり子）
降り立ちてつよき香の中果の花　（昭代）
早苗田に残す足跡水の照り　（忠治）
紫陽花の雨に歩きて楽しけり　（やすず）
浅蜊鳴くだあれもいない厨から　（かほる）
布袋草くぐりて迅し夏の蛾　（淑子）
軽鴨を青田に放ち水の照り　（秀治）

歴史探訪　第71回　地名考・油平②

滝山街道（油平駐在所付近）

この近辺は秋留っ原と呼ばれ、畑はあっても田圃はなく、北条氏家臣の中村但馬守が開村してからと云われていますので、村の成立としては近隣より遅かったようです。十八世紀末では「アブラタイラ」、十九世紀初めは「アフラタイラ（武蔵志）」と呼ばれていましたが、地名で一目瞭然、油平は「油を作っていた土地」である事に気づきます。

油を大別すると食用と灯火用になりますが、日本でも古くから油が使用され、食用では七世紀に油を使って唐から伝わった菓子を作った記録もあります。十六世紀には天麩羅やけんちん汁なども作ったと云います。灯火用は室町時代には既に油売りも出現していました。特に社寺・公家・土豪が大量に使用したのでしょうが、一般の家庭でも早期に普及し、灯りを点す習慣が広く伝わってゆきました。

灯油というと菜種油が広く知られていますが、それ以前の古い油は荏胡麻から採る「荏油（えのあぶら）」が中心でした。荏胡麻は東南アジア原産ですから、中国からの帰化植物といってよいでしょう。

（続く）

草花　木崎秀治